

令和6年度国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 交流研究員の受入れについて

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所では、令和6年度の交流研究員受入れ募集を行います。

交流研究員制度は、国内の他機関に所属する職員等を寒地土木研究所に受け入れる制度であり、土木技術水準の向上や、寒地土木研究所と派遣元双方の業務の質の向上に資することを目的としております。

寒地土木研究所は研究活動を通じて交流研究員の指導を行います。

申請手続き及び受入れ可能な課題は下記の通りです。

記

- | | |
|-----------|---|
| 1. 受入れ開始日 | 令和6年9月1日以降 |
| 2. 受入れ期間 | 6ヶ月以上・2年以下（最長3年まで延長する場合有り） |
| 3. 申請締切日 | 令和6年6月17日（月）17:00 まで（必着） |
| 4. 応募資格 | 経験年数4年以上（修士の場合2年以上）の職員等を対象とします。 |
| 5. 受入れ課題 | 別紙「令和6年度交流研究員受入れ課題一覧」のとおり。 |
| 6. 受入れ費用 | 受入れに要する費用（給与、旅費等）は申請機関の負担とします。 |
| 7. 申請 | ホームページに掲載している以下の書類に必要事項を記入のうえ申請願います。
・ 交流研究員受入れ申請書（様式－1）
・ 交流研究員人事記録（別紙）
※様式掲載URL
https://www.ceri.go.jp/recruit/accept/kouryu.html
※申請書類にご記入頂いた個人情報については、交流研究員受入れ事務以外の目的で使用することはございません。
※国立研究開発法人土木研究所交流研究員受入れ規程
国立研究開発法人土木研究所交流研究員受入れ取扱要領
https://www.ceri.go.jp/recruit/accept/kouryu.html |
| 8. その他 | ・ 受入れ決定は7月下旬頃の予定
・ 受入れ課題名等は現時点での予定のため変更になる場合があります。
・ 希望者が集中した場合等は、チームの指導可能人数や交流研究員制度の趣旨を踏まえ、調整させていただく場合があります。
・ 民間会社等から交流研究員を受入れた場合、交流研究員の申請機関は受入れチーム等（上席研究員単位で判断）における契約の相手方となることができません。このため、受入れチーム等における業務発注等の入札等に参加できませんので予めご了承ください。（受入れ期間中のみ）
・ 受入れ開始日は令和6年9月1日からとじていますが、9月以降で受 |

9. 提出・問合せ先

入力を希望される場合は個別にご相談ください。

国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 企画室
交流研究員受入担当

〒062-8602 北海道札幌市豊平区平岸1 条3 丁目1-34

TEL : 011-841-1636 FAX : 011-824-1226

URL : <http://www.ceri.go.jp/>

以上

令和6年度交流研究員受入れ課題調査表

NO	グループ名	チーム名	課題名	課題の内容	備考
1	寒地基礎技術 研究グループ	寒地構造 チーム	大型RC建造物の損傷検査技術に関する 研究	地震応答により生じるRC橋脚の損傷を対象とし た非破壊調査技術に関する検討を行う	